



## 猫の忌避方法一覧



猫避けについては、これで絶対という方法はありませんが、効果があったという情報をまとめてみました。効果を持続させるには、いくつかの方法を組み合わせるとよいでしょう。

名 称	方 法	メリット	デメリット
1 食用酢	食用酢をスポンジや布に染みこませて通路に置く。	手軽である。	効果が持続しない。 雨ですぐに流れる。
2 木酢液	木酢液を布にしみこませるか空き缶に入れて通路に置く。	手軽である。	独特の臭いがする。 雨で流れる。 短期間で馴れが出てくる。
3 ミカン等の柑橘類の皮	ミカン等柑橘類の皮を撒く。	マーキング場所など狭い場所からの撃退などの効果事例あり。	効果があまり持続しない。
4 ハーブ類を植える	レモングラスやルーなどのハーブ類を植える。	通り道に植えると嫌がることもある。	育てるのが大変。 効果が未知数。
5 市販の忌避剤	ペットショップやスーパー等で販売している。	手軽に出来る。 種類が多い。 即効性がある。	雨で流れる。 短期間で馴れが出てくる。
6 水をまく	ホースで水をたっぷり撒く。	手軽である。	乾くとすぐに元に戻る。
7 水鉄砲など	物陰に隠れて水をかける。	道具をあまり必要としない。	姿を見せないようにしなければならぬ。 (天罰法を使う)
8 ガムテープ	ガムテープを輪(粘着面を外側)にして通路等に置く。	手軽である。 塀や狭い通路に効果あり。	すぐに粘着性がなくなり頻繁に交換する必要がある。
9 割り箸	割り箸を通路や花壇などに立てておく。	手軽である。	割り箸を立てていないところにされることがある。 美観を損ねる。

10 とげ状シート	通路及び飛び上がる場所の足元に敷く。	手軽である。 設置しやすい。	他の場所を使うことがある。 費用がかかる。
11 針金を張る	ブロック塀の上に針金を張る。	効果が持続する。	効果があるのはブロック塀の上だけ。 設置に手間がかかる。
12 ネットを張る。	通路にネットを張る。	効果が持続する。	費用と手間がかかる。
13 センサー感知型超音波発生装置	センサーにより猫が通ると自動感知し、猫の嫌う特殊超音波を発生させる。	周波数自動可変型のものは馴れが出難い。	費用がかかる。 設置方向の検討が必要。
15 センサー感知型散水装置	センサーにより猫が通ると自動感知し、スプリンクラーにより水を散布する。	馴れが出ず効果が持続する。	費用がかかる。 散布範囲の設定など設置場所の制約がある。
多少許せる方のお試し用	缶の箱や発泡スチロールの箱に砂を入れたトイレを作ってやり、決まった場所でさせるようにする。	便をされる場所を固定でき、他の場所への被害を防ぐことができる。	毎日清掃が必要となる。

効果があるとされているがはっきりしないもの。

1 タバコの吸殻の浸し液	タバコの吸殻をほぐしてから水に浸し、それを散布する。	廃品利用でありコストがかからない。	効果や持続期間については不明。 臭いの苦情になることがある。
2 コーヒー粕	コーヒー粕を散布する。	廃品利用でありコストがかからない。	効果や持続期間については不明。
3 ニンニク	ニンニクを細かく切って撒くか、目の細かい網の袋に入れて吊るす。	環境への負荷が少ない。	効果や持続期間については不明。
4 トウガラシ	トウガラシを細かく切って撒くか、目の細かい網の袋に入れて吊るす。	環境への負荷が少ない。	効果や持続期間については不明。